

## SSH事業 SEIZE-daysプログラム参加生徒募集中

本校ではSSH事業として一部のGSI等の学校設定科目の授業をオープン講座としたり、短期的な探究活動体験プログラムを企画したりしています。これらのプログラムは、GS科や自然科学系部活動以外の生徒も参加できるようになっています。現在は下記のプログラムを募集しています。

### SSHオープン講座「探究基礎実習Ⅰ」

この講座は希望する普通科・演劇科の1～3年生から募集します。このプログラムは理工系だけでなく教育系を目指す生徒向けにもなっていますので、**教育系の進路を考えている人はぜひ参加してください。**

日時：5/24(月) 8:45～12:00 @宝塚北高校 第2セミナー教室

講師：京都教育大学理学科 教授 村上忠幸先生 他

内容：身近な現象「(内容は当日のお楽しみ)」を探究する

対象：普通科・演劇科の希望者 12名程度

※後日配布される募集要項に従って応募してください。



▲一昨年のオープン講座の様子

### 科学オリンピックへのいざない ～チャレンジの先になりたい自分がある。得意分野で頑張るあなたを応援します。～

テレビでも何かと話題のオリンピック。本校にも卒業生がシドニー大会とアテネ大会に出場した方がいるのでちょっと縁があります。実はサイエンスの世界にもオリンピックのような学生を対象とした国際大会があります。2021年の国際科学技術フェア(ISEF:研究に関する世界大会)へ出場した先輩がいることは何度か紹介していますが、この大会も国際科学オリンピックの一つです。さて、今回は競技系のオリンピックの国内選考会を兼ねたコンテストの募集を行います。

#### ・物理チャレンジ (International Physics Olympiad 国内選考会)

申込締切：5/11(火) ※校内締切

一次チャレンジ：理論問題(7/11) & 実験課題(6/14締切)

選抜方法：オンライン 参加費：2000円/人

学校を通して申し込むとSSH事業から交通費の補助が出る場合があります。

#### ・日本生物学オリンピック (International Biology Olympiad 国内選考会) <昨年21人参加>

申込締切：5/21(金) ※校内締切

一次予選：選択式問題(7/18)

選抜方法：オンライン 参加費：無料

一定以上の参加者が集まれば希望者を対象に対策講座を開講します

#### 国際科学コンテスト



▲詳細はこちらから

#### ・化学グランプリ (International Chemistry Olympiad 国内選考会) <昨年2人参加>

申込締切：5/28(金) ※校内締切

一次予選：選択式問題(7/22)

選抜方法：オンライン 参加費：無料

一定以上の参加者が集まれば希望者を対象に対策講座を開講します

※学校を通じて申し込む場合は微力ながらもバックアップします。

→申し込み先…GS科 門井または木村まで

GS科の生徒は3年間で1回以上はこれらのコンテストか研究系のコンテストにチャレンジすることが一つの目標です。

これ以外の国際科学オリンピックのそれぞれの国内予選については簡単に教室掲示などで案内しています。言語学や哲学、地理など、文系の方でも挑戦しやすいものもあるのでぜひ挑戦してください。

# シンポジウム参加者募集中！

第67回日本生化学会近畿支部例会ではGS科3年生と化学部2年生が発表する予定です。そこで例会中に行われる特別シンポジウム「日本の生化学の真骨頂～その源流とライフイノベーション～」の様子を本校でライブ配信できることになりました。講演者は各分野の第一人者ばかりです。生物学や医学、薬学等に興味がある人はぜひ参加してください。

日時：5月29日（土）※時間は後日公開

プログラム 1. 茶本 健司 先生（京都大学大学院医学研究科・特定准教授）

「PD-1 の分子機能と PD-1 抗体を用いた免疫治療」

2018年ノーベル賞の本席先生の研究室の先生です

2. 吉田 秀郎 先生（兵庫県立大学大学院生命理学研究科・教授）

「小胞体・ゴルジ体ストレス応答と神経変性疾患との関連」

CRISPRを発見した先生です

3. 石野 良純 先生（九州大学農学研究院生命機能科学部門・教授）

「原核微生物研究がもたらした遺伝子操作技術からゲノム編集実用化まで」

申込：5/28（金）までにGS科の先生に申し出るかアゴラ（GS科準備室）前の申込用紙に記入して提出BOXに提出してください。

※詳細は時間が決定次第、掲示等で連絡します。

## 2年普通科「総合的な探究の時間」の様子

「令和4年入学生から高校の授業が探究的な活動に変わる」というようなことがテレビや新聞で大きく取り上げられました。探究活動といえばGS科のイメージが強いですが、普通科や演劇科の生徒も探究活動を行います。また、兵庫県の県立高校では令和元年度から「総合的な探究の時間」を先行実施しており、本校普通科の生徒は2年生で自らテーマを設定して探究活動を始めますが、一部の生徒は、部活動や外部といった課外活動で経験をしている生徒もいます。そこで、2回目の授業となる4/22(木)には2名の生徒が昨年行った課外活動を体育館のステージで発表してもらいました。

### ①「気候変動と私たち ～SAVE THE EARTH～」

（新戸愛杏々さん；”ひょうご高校生 環境・未来リーダー育成プロジェクト“での活動）



### ②「交通信号反応はなぜ黄色で終わるのか？」

（田中幹久さん；化学部での活動）



提案型の研究と基礎研究というタイプの異なる2種類の発表でしたが、どちらもそれぞれの個性が出ている発表でした。次回からはテーマをどう決めるのか、具体的に研究をどのように進めたらいいのか等のトレーニング実習に入っていきます。